

「  
無  
記  
」

作  
サ  
カ  
イ  
リ  
ユ  
リ  
カ

がらんとした空き地。

白いロープが2本、ピンと張られている。

そのロープの両端は、上手と下手にいる女に左手に1本、右手に一本、それぞれ握られている。

——そのロープの前で客席に背中を向けて佇む男が1人。

女1・2 「へーのーへーのーもーへーじ」

女たちは掛け声に合わせて、縦横無尽にその2本の縄を操り、掛け声が止むのと同時にびたりと動きを止める。

男 「通してください!」

女1・2 「(無視して、また縄を動かし) へーのーへーのーもーへーじ」

男 「通してください!」

女1 「上、上、上」

女2 「下、下、下」

男 「え?」

女1 「上か」

女2 「下か」

女1・2 「上か下か上か下か上か下か!」

男 「なんですか、なんなんですか」

女1 「後ろ向いて」

女2 「遊び、ましよう」

女1・2 「上か下か上か下か上か下か!」

男、女たちの勢いに押され、しぶしぶロープに背を向ける。

女1・2 「へーのーへーのーもーへーじ」

間。

男 「上」

男、ロープの方を向く。

ロープは高くあげられており、男はその下をくぐり抜けようとする。

女1 「それは下!」

女2 「あなた上って言ったでしょ!」

女1 「おきてやぶり!おきてやぶり!」

女2 「もう1回!もう1回!」

男 「くそ・・・」

再び、男は後ろを向き、「へへのもへじ」が始まる。

女1・2 「へーのーへーのーもーへーじ」

男 「下!」

男は振り向くが、今度は地面にすれすれなところにロープがあり、くぐり抜けられそうにない。

女1・2 「(小躍りしながら) もう1回!もう1回!」

男 「くそ・・・」

三度目。

女1・2 「へーのーへーのーもーへーじ」

男 「下!」

振り向くと、腰より低いくらいの高さにあるロープ。  
男はくぐり抜けようとする。が、途中で体がひっかかる。

女1・2 「しっばい!しっばい!」

女1・2、ロープで男の身体を元の位置に押し戻す。

男 「なんだよどうなってるんだ・・・」

男はあきらめずに、律儀にまた後ろを向く。  
また始まる遊び。

女1・2 「へーのーへーのーもーへーじ」

男 「上!」

男がえいや、と振り向くと、高く上げられたロープ。

女1・2 「しっばい！しっばい！」

男 「お前たち、動かしたんじゃないのか！？動かしたんだろ？」

女1 「うたがい！」

女2 「ぬれぎぬ！」

女1・2 「おにちくしよう！」

男 「なんだよ、俺が悪いってのかよ？」

女1 「はやくやろう！」

女2 「やらねば」

女1 「やるとき」

女2 「やれ！」

男 「勝ってやる・・・絶対勝ってやるからな。見とけ！さあ来い！」

男、臨戦態勢になる。

女たちと男の息もつかせぬ攻防戦が始まる。

なお、男は「上」「下」と叫ぶたび振り向くが、ことごとく「失敗」する。だんだんと互いのスピードが増していく。

続く――